

# コミュニティ活性化事業の 特徴とその効果

愛媛大学社会連携推進機構

地域連携コーディネーター(教授)前田 眞

# 地域を元気にする住民活動

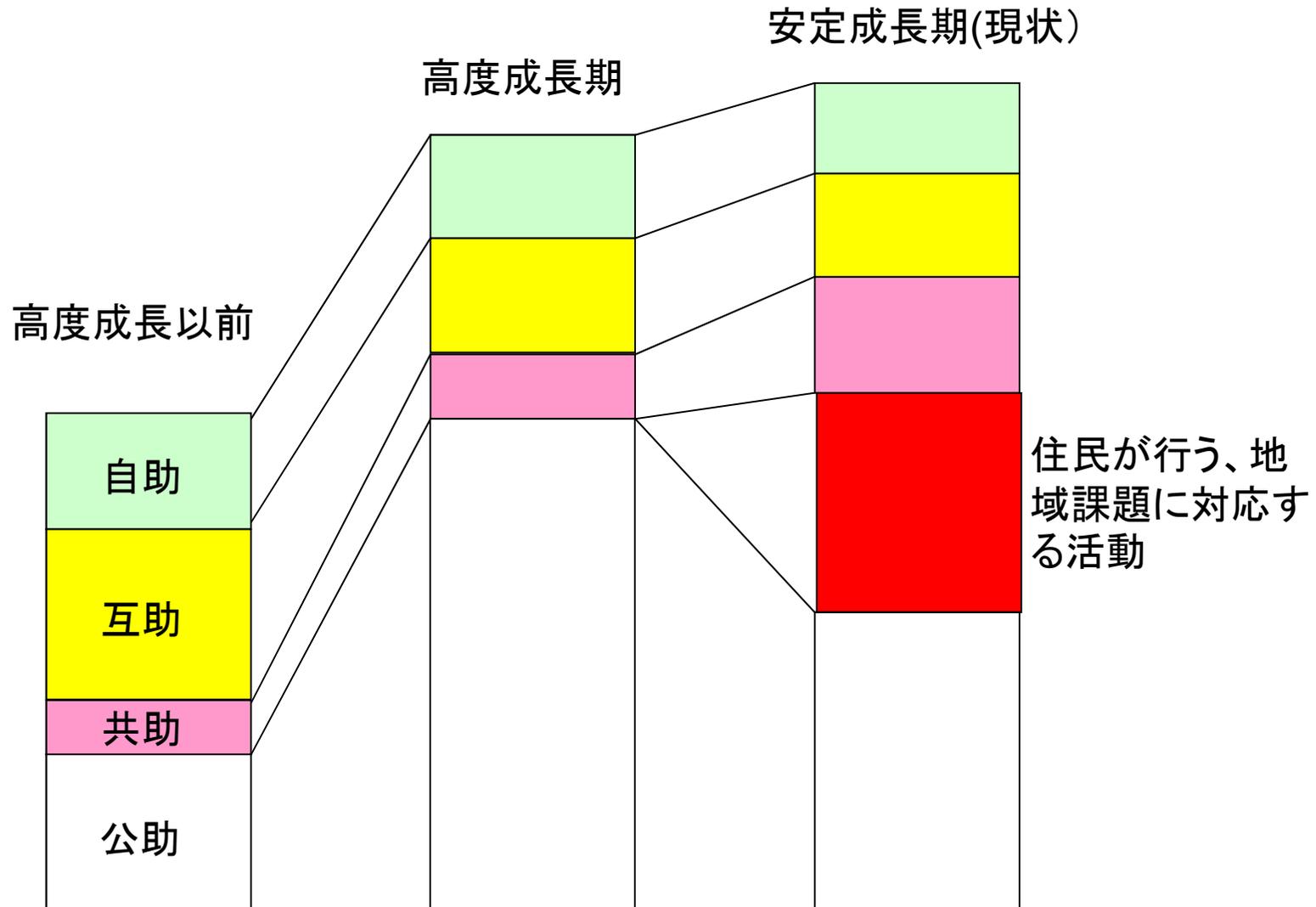
一人ひとりに居場所と出番があり、役に立つ幸せを大切にすること

→この世の中に役に立たない人はいない

→一人ひとりが立ち上がり、支え合いながら地域課題に立ち向かう

→少子高齢社会において、今ここにいる人たちを中心に、地域のきずな(コミュニティ)をつくる

# なぜ住民活動なのか



# 社会問題化する地域の生活課題

- 高齢者の安否確認 ・ 認知症対策
- 虐待 ・ 家庭内暴力 ・ 孤立死 ・ 徘徊死
- ひきこもり ・ 高齢者への詐欺的商法
- ゴミ屋敷 ・ 災害時の要援護者の援護
- 子育ての支援 ・ 自治会加入率の低下
- 地域行事やイベント等への参加や協力
- 地域での共同生活に係わるルールづくりとその遵守(ゴミ出しなど)

# 地域で取り組む必要のある課題

- 制度の狭間で苦しんでいる人への支援
- 身近なセーフティネットが働かない人への支援
- 地域住民のニーズ(困り事)への対応
  - 時々ちょっとした事の手伝い
  - 一時的要支援状態にある人の支援(病気、けが)

# その担い手は

- 制度上は、行政など公的な機関、団体
  - 全体を俯瞰しないと優先順位が決められない、事業着手がしにくい
  - 予算が伴わないとできないことが多い
- 非制度上は、個人、グループ、住民組織
  - 気のついたところから取りかかれる
  - 「思い」からとりかかることができる

# 「住民自治」を取り戻す

## 自治すること

「暮らしの基本」と「地域の魅力づくり」

安全・安心の維持

文化・伝統をどう残す

経済的な競争力の維持・向上

## 自治する力

決める力、行動・実践する力、

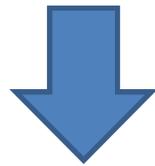
育てる力

# 住民自治の実現に向けて

- 参加の場づくりへ

トップダウン

指導、教える、話す  
自己主張、出る杭

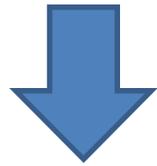


ボトムアップ

支援、引き出し、  
待つ、傾聴、  
多様性の尊重

# 参加の場づくりへ

トップダウン 先生、有識者、ワンマン、強力なリーダー



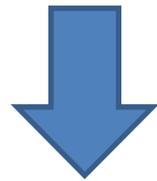
ボトムアップ 支援者、コーディネーター、ファシリテーター

# その結果生まれるもの

当事者意識が高まる

他人事

遠い出来事、対岸の  
火事、頭でわかってても  
体でわかっていない



自分事

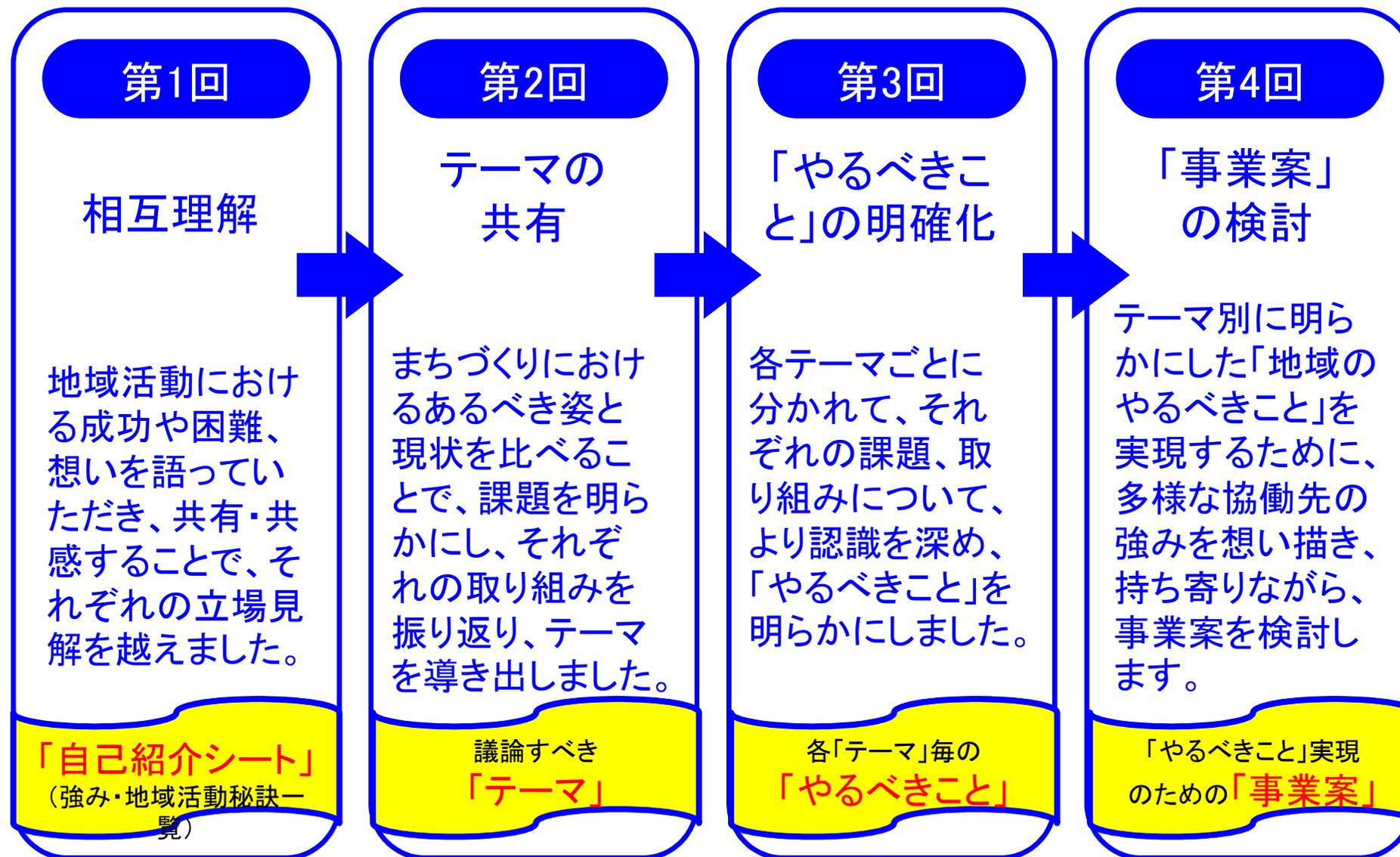
自己決定、責任ある  
長期的なかわり、  
頭でわかり体でわかる

# 自分たちの地域は自分たちでつくるー協働の地域づくりのイメージ

## 【協働の地域づくり】



## 住民集会の流れ



# 豊岡地区の住民集会





# 川滝地区の様子





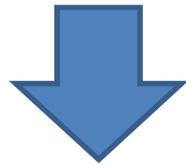
# 蕪崎地区の様子





# ソーシャルキャピタルの豊かさ (社会関係資本、人間関係資本)

- つながりのある社会とつながりが脆弱な社会との差は、「生活課題」の発生が抑えられる。
- 地域における新たな支え合いを創出する。



ご近所の底力

# コスモスTV(CATV)へ協力を

『ふるさと創生塾

明日について

話しましょう』

地域が抱える課題  
や他の地域に自慢し  
たい魅力など、住民自  
らが地域の明日につ  
いて話し合う番組。

